

7/4

親子岩ふれ愛ビーチ安全祈願祭

7月4日（土）、親子岩ふれ愛ビーチ海水浴場のオープンに伴い、安全祈願祭が行われました。

祈願祭には、荒木町長、様似町観光協会の中村康則会長をはじめ関係者22名が参加し、海水浴場の安全を祈願しました。荒木町長は「ふれ愛ビーチに訪れるかたがたが、事故なく楽しんで思い出を作って帰っていただけるよう、安全な運営を心がけますのでよろしくお願いいたします」と述べました。



7/4

第55回日高管内身体障害者スポーツ大会で様似町が優勝

7月4日（土）、平取町の中央公民館で第55回日高管内身体障害者スポーツ大会が開催されました。

日高管内6町の身体障害者福祉協会員が一堂に会し、スポーツを通じて心身の健康増進を図るとともに、町の枠を越えた交流を深めました。

様似町からは選手10名が出場。見事なチームワークを披露し、昨年に続く優勝を果たし、大会2連覇を達成しました。



新消防庁舎開庁式が開催 一般公開の内覧会も同時開催されました

7/5

7月5日（日）、新消防庁舎の開庁式と内覧会が行われました。式典には多くの関係者が出席し、新庁舎の完成を祝いました。

新庁舎は耐震性に優れた構造で災害時の対応力強化や、より迅速な救急活動が期待されます。

内覧会では、消防職員が来場者一人ひとりに同行しながら、庁舎内の設備や各室の役割について説明を行いました。参加者は新庁舎の設備や一室一室を興味深く見学していました。



7/8

門別競馬場で様似町協賛レースが開催

7月8日（水）、門別競馬場で様似町協賛レース「アポイ岳世界ジオパーク特別」が行われました。また、レースを記念して会場内で様似町特産品抽選会が行われ、来場者にさまざまな特産品がプレゼントされました。

多くの観衆が見守る中、白熱したレースを制したのは、3枠3番、落合玄太騎手が騎乗のタイセイサージ号（牡4）でした。

レース後の表彰式では、様似町賞として荒木町長より馬主、騎手、調教師、厩務員へ副賞が贈られました。



まちの話題

Town Topics

小学生田植え体験

～苗と一緒に、すくすく成長中～



6/28

歩いて、学んで、備える防災さんぽ

6月28日（日）、防災塾第2弾「ヘルシーウォーキングで防災さんぽ」を開催しました。ふれあい広場でウォーキング講師・石川朋美先生（TOMOSPORTS）による準備運動とレクチャーの後、新消防庁舎に向けて出発。道中での、防災や水道に関する講話に加え、禅輪寺では住職からのお話も伺いながら歩みを進めました。新消防庁舎では、119番通報の実演を見学し、隣接する「さまー」で町保健師から防災と健康に関する説明を受けました。

歩いて、学んで、体も心も元気に。日頃の「健康」と「備え」がいざという時の安心につながります。



7/1

様似中学校の環境整備に貢献 （株）岡田共立興産へ感謝状を贈呈

7月1日（水）、秋山教育長が株式会社岡田共立興産の山本玄記代表取締役社長へ感謝状を贈呈しました。同社には様似中学校グラウンドの余剰土砂撤去及び老朽化したサッカーゴールの撤去を行っていただきました。

山本代表取締役社長は「地域の子どもたちが安全に、気持ちよく活動できる環境づくりに携われたことを、大変光栄に思います。これからも様似町の発展に貢献してまいります」と話されました。



7/2

社会を明るくする運動伝達式

7月2日（木）、浦河地区保護司会の渋谷いづみさんから木下副町長へ社会を明るくする運動の伝達が行われました。この運動は、法務省が中心となり犯罪・非行の防止と立ち直りへ理解を呼びかけるもので、今年で76回目を迎えます。

伝達を受け、荒木町長のメッセージを代読した木下副町長は「保護司のみなさんのご尽力に改めて敬意を表します。犯罪や非行を防ぎ、立ち直ろうとする人を地域で支えていくことは、大変重要な取り組みです。町としても、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります」と述べました。





アポイ岳ジオパークビジターセンター 「9日間の夏のイベント」開催のお知らせ



アポイ岳ジオパークビジターセンターでは、8月8日（土）から8月16日（日）の9日間にかけて「夏のイベント」を開催します。

身近な自然の不思議を学びながら、工作を楽しめる内容となっています。自由研究や夏休みの思い出づくりにもぴったりです。お子さまから大人まで楽しめる内容となっていますので、この夏休み、ぜひ親子でご参加ください。



■イベント内容

内 容	料 金	日にち
ガラスの浮き球で風鈴づくり	1回 200 円	8月8日・10日・13日・15日
海ゴミも使った万華鏡づくり	1回 300 円	8月9日・11日・14日
石の世界を見てみよう (館内案内・岩石の体験)	無料	8月12日・16日

■開催時間

① 10:00～11:30 ② 13:00～14:30

■開催場所

アポイ岳ジオパークビジターセンター
(北海道様似郡様似町字平宇 479-13)

※汚れてもかまわない服装でお越しください。
※小学3年生以下は保護者同伴でご参加ください。

■協力

アポイ岳ファンクラブ

●問い合わせ・予約／アポイ岳ジオパークビジターセンター (Tel 0146-36-3601)



様似小学校 5年生ふるさとアポイ学 アポイの岩石



様似小学校の5年生は、総合的な学習で「アポイの岩石」について学習を進めており、アポイ登山の事前学習・事後学習を踏まえ、岩石についてのポスターを作成します。

7月8日（水）には、エンルム岬の節理露頭とアポイ岳ジオパークビジターセンターの見学を行い、エンルム岬では、ローソク岩や親子岩などの奇岩の成り立ちや2003年の十勝沖地震の影響でローソク岩の先端が崩れるなど、長い年月の中で、少しずつ形が変わってきていることに驚いていました。

また、ビジターセンターではかんらん岩の岩石薄片を偏光顕微鏡で観察したほか、蛇紋岩の名前の由来や砂鉄などについて学習しました。



様似町 PTA 連合会が町長へ「児童生徒の『ふるさと学習』成果発表の機会確保を求める要望書を提出

7月14日（火）、様似町 PTA 連合会の幕田優祐会長と古川翼副会長が役場を訪れ「児童生徒の『ふるさと学習』成果発表の機会の確保について」の要望書を木下副町長と秋山教育長が立ち会うなか、荒木町長へ提出されました。

この要望書は、ジオパーク関連予算の減額修正にともない、様似小・中学校においても一部活動が中断していることを受け、活動継続及び学習機会の確保を求めるものです。具体的には「『ふるさとアポイ学』における子どもたちの学びの成果や教育的意義を重視した継続的な支援」と「子どもたちが様似町について学び、まとめた成果を全道・全国規模で発表・交流する機会の継続的な確保」の2点が盛り込まれていました。

要望書を受け取った荒木町長は「『ふるさとアポイ学』における子どもたちの成果発表や他地域との交流は、様似の未来を担う人材育成において欠かせない機会です。今後もみなさまのご理解をいただけるよう粘り強く努力を重ねてまいります」と述べ、ジオパーク推進活動の一部見直しにともなって子どもたちの学びの場や挑戦の機会が失われることのないよう、今後も継続的な支援と機会の確保に向けて取り組む考えを示しました。



ほほえみ★マイルストーン

01

02

03



7月に
1歳・2歳・3歳に
なられたお子さんを
紹介しています。
(承諾をいただけた
かたのみ)



門ノ沢 咲玖ちゃん(1歳)



小野 このか 心栞ちゃん(2歳)



池田 みつき 充希ちゃん(3歳)



遠藤 カノアちゃん(3歳)



門脇 すい 翠ちゃん(3歳)



佐藤 いおり 伊織ちゃん(3歳)

写真の提供について、ご協力いただきありがとうございました！